資料1

旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る数値目標等の状況について

○人口全体の状況について

◇総人口と人口比率

		平成27年(2015) 10月		平成28年(2016) 10月		平成29年(2017) 10月		平成30年(2018) 10月	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
年少人口 (0～14歳)		39,464	11.4	38,822	11.3	37,885	11.1	37,157	11.0
	前年増減	－	－	▲ 642	▲ 0.1	▲ 937	▲ 0.2	▲ 728	▲ 0.1
生産年齢人口 (15～64歳)		201,294	58.3	197,207	57.4	193,185	56.7	189,728	56.1
	前年増減	－	－	▲ 4,087	▲ 0.9	▲ 4,022	▲ 0.7	▲ 3,457	▲ 0.6
老年人口 (65歳以上)		104,807	30.3	107,363	31.3	109,452	32.1	111,112	32.9
	前年増減	－	－	2,556	1.0	2,089	0.8	1,660	0.8
合計		345,566	100	343,393	100	340,523	100	337,998	100
	前年増減	－	－	▲ 2,173	－	▲ 2,870	－	▲ 2,525	－

※各年の合計には年齢不詳1人を含む。

◇自然増減

（各年1～12月）

	平成27年	平成28年	平成29年	H29-H28差
出生数	2,325	2,299	2,203	▲ 96
死亡数	4,019	4,073	4,190	117
増減計	▲ 1,694	▲ 1,774	▲ 1,987	▲ 213

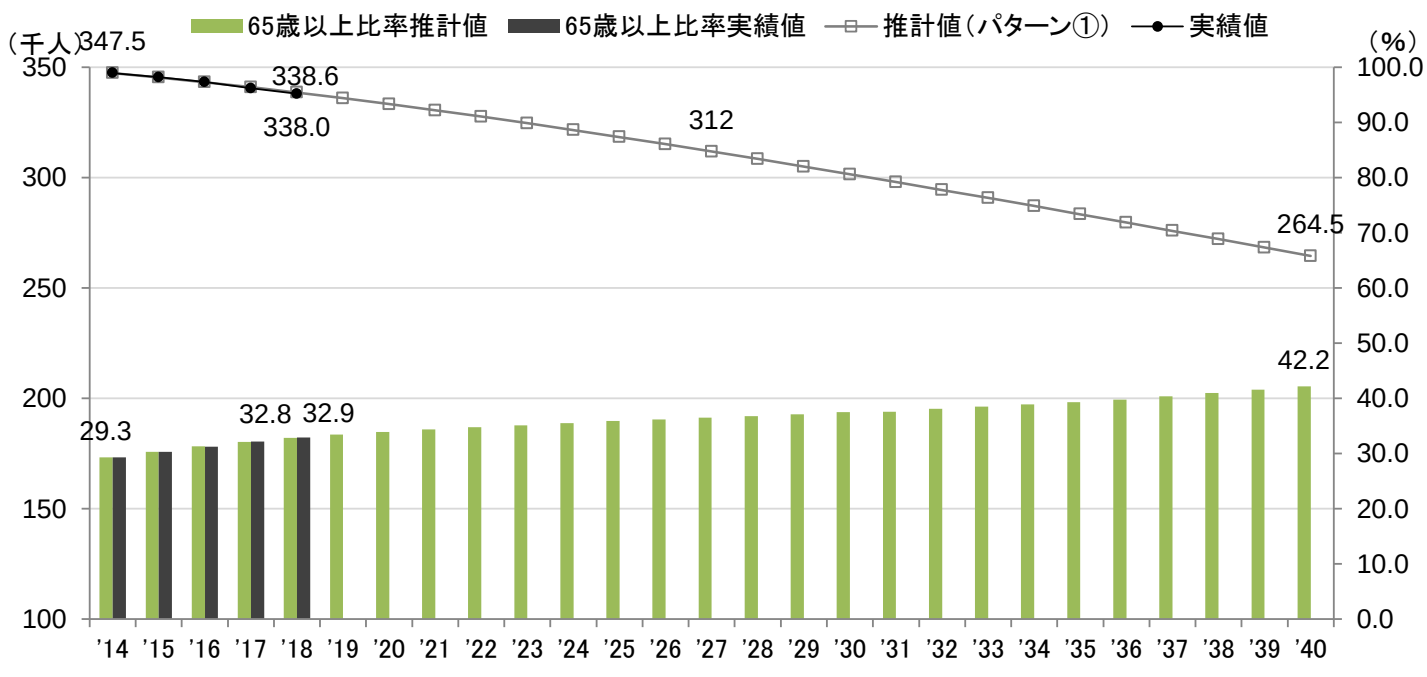
◇社会増減

（各年1～12月）

	平成27年	平成28年	平成29年	H29-H28差
転入者数	11,514	11,008	11,081	73
転出者数	11,739	11,674	11,731	57
増減計	▲ 225	▲ 666	▲ 650	16
※転出超過の主な内訳 札幌市	▲ 1,067	▲ 1,143	▲ 1,013	130
道内札幌以外	1,127	778	753	▲ 25
東京都	▲ 163	▲ 183	▲ 189	▲ 6
道外東京以外	▲ 186	▲ 145	▲ 240	▲ 95

平成29年の自然増減については，出生数の減少及び死亡数増加の傾向が続いており，自然減が進んでいる。
また，社会増減については，平成28年より転入者数はやや増加に転じたが，転出者数も増加していることから，前年とほぼ同水準で推移している。

◇人口ビジョンの推計人口との比較

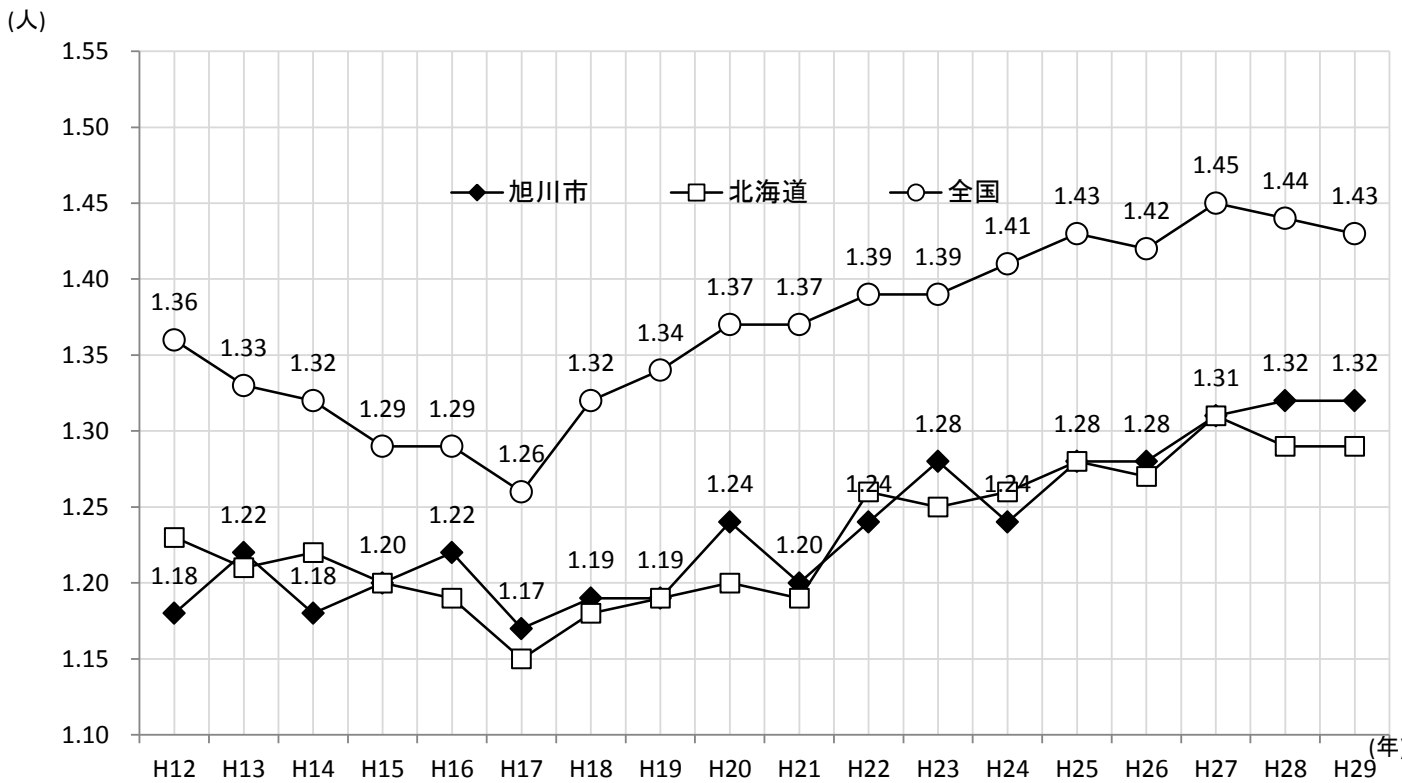


資料：旭川市人口ビジョン

人口ビジョンの推計人口（策定時の状況が続くと想定したパターン①）の平成30年時点の推計値と現状を比較すると，実績値が推計値を578人下回る。その要因としては，社会減が平成26年の推計時より減少幅が大きいためと推測される。

○基本目標1

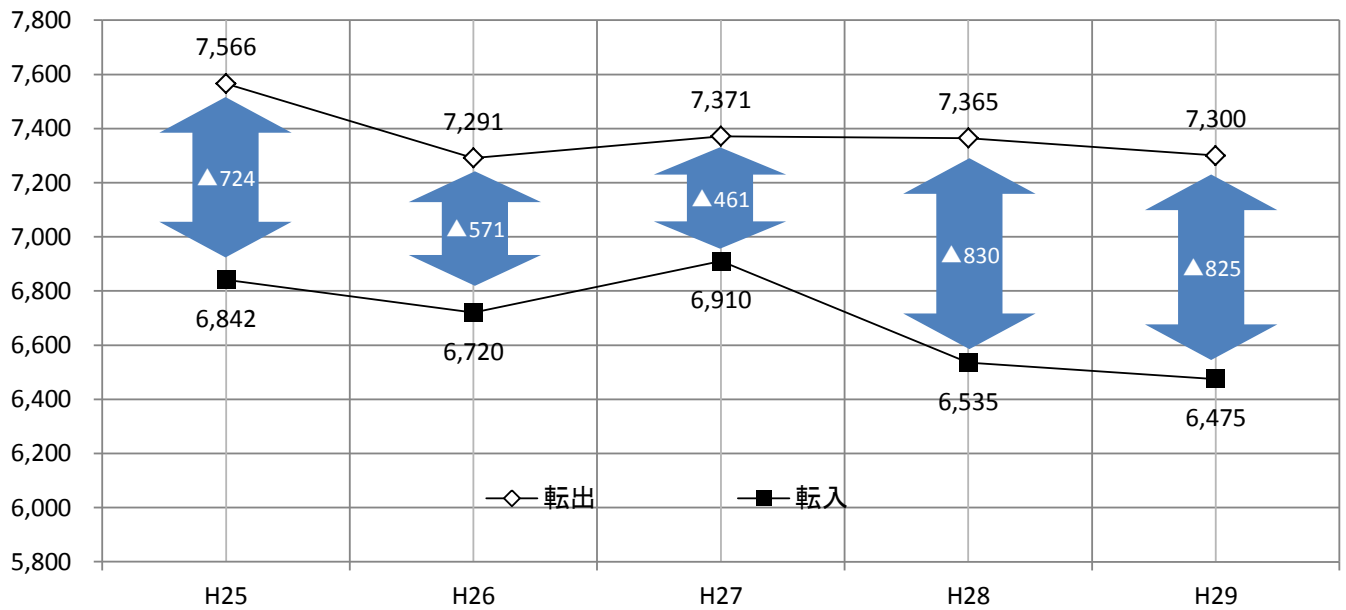
指　標	数値目標
合計特殊出生率 （H25年現在：全国1.43，道1.28，市1.28）	全国平均との乖離を縮小し，全国水準まで引き上げる



平成29年の合計特殊出生率は前年から横ばいの1.32となっており，2年連続で低下した全国平均（1.43）の差は前年より0.01ポイント縮小した。

○基本目標2-1

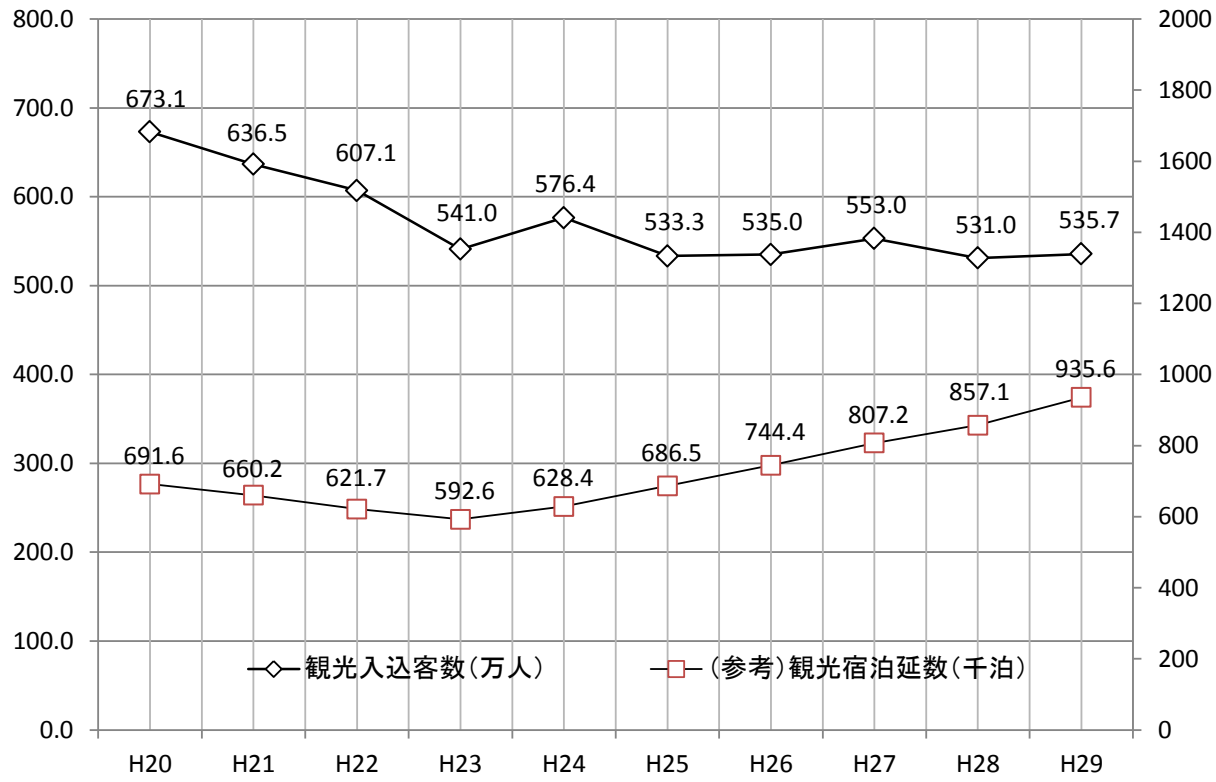
指　標	数値目標
各施策による34歳以下の転入者増及び転出者減の合計数	H27年から31年までの 累計で160人



平成29年における34歳以下の転入者は前年より60人減少，同じく転入者は前年より65人減少で，転出超過は825人となっており，前年の830人とほぼ同水準であり，若年層の流出傾向に歯止めがかかっていない状況である。

○基本目標2-2

指　標	数値目標
観光入込客数（H26年度：535万人）	5年間で75万人増 （H31年度：610万人）



平成29年の観光客入込客数は，前年より4.7万人の535.7万人となっており，H25年度以降，ほぼ横ばいの状況となっている。
一方，観光客宿泊延数は前年より約78.5千泊増で935.6千泊と6年連続の増加となっている。

○基本目標3

指　標	数値目標
雇用創出数	5年間で480人

平成27年度から平成29年度の企業誘致などの取組を通じた雇用創出数は316人となっており，目標に向けて概ね順調に推移している。

※平成29年度の主な取組を通じた雇用創出数
- ◇ 企業誘致及び市内工場等の新増設による雇用増：55人（9社）
- ◇ 新規就農者：1人
- ◇ 新規開業者数：27人